

この色彩豊かな祭りは、初日は夜 7 時半頃に花火とともに始められる。つづく燈籠行列では、大きな棒につけた燈籠を持って外湯である十王堂の湯から大湯通りを経由し、湯澤神社に向けて通りを練り歩く姿が見られる。神道の神、猿田彦命が清めの神事を行うシメ切は見逃せない。この踊りでは、猿田彦命が拍子に合わせて火のついた大きな松明を振り回し、刀でシメ縄を断ち切るのだ。毎年このユニークで壮大な舞は夜中まで続くため、通りにならぶ屋台で売られている地元のおいしい軽食などを食べ、お腹を満たしておくといいだろう。